

## 第 41 回理事会 議事録

1.開催日 2023年12月16日(土) 13:00:~17:25

2.開催方法 ZOOMによるオンライン会議

3.理事 19名中19名が出席し、定足数を満たした。

(出席) 愛場庸雅 村越 真 鹿島田浩二 高島和宏 信原 靖 奥田健史 糸 早穂 加納尚子 中野智美  
野中好夫 佐藤大樹 大野(山本)徳子 市橋国之 吉村年史 茅野耕治 小林 力 市川俊介 大石 遥  
源後(皆川)美紀子

監 事 (出席)中川義宏 齋藤宏顕

(欠席) 斎藤和助

顧 問 前田(大里)真理子

オブザーバー 落合公也

事務局 小野賢二

議 長 定款第32条により、愛場理事を指名した。

・愛場理事は議長の為、賛否同数の際にのみ表決を行う。今回理事会での愛場理事の表決は全議案棄権票として扱う。

#### 審議事項

第1号議案 会長職務代理者の責任順位の承認(愛場副会長)

会長等が欠けた時の代行業務の責任順位を決定しておく必要があり、副会長及び業務執行理事においてその順位を決定する。

副会長は、1:愛場、2:村越 業務執行理事は(年齢順として)1. 鹿島田、2.高島、3. 信原、4 奥田、5. 糸以上、審議の結果、出席理事総数18名のうち賛成17名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

第2号議案 JPSA登録およびJPC加盟について再承認(野中理事)

公益財団法人日本パラスポーツ協会(JPSA)の内部組織である日本パラリンピック委員会(JPC)への加盟の承認

・前回理事会で承認されたが、JPSA訪問の際に加盟意思の再確認要請を受けての再承認依頼。  
・また東京2025デフリンピック開催後、JOAが障害者スポーツにどの様に関わっていくかについて、いくつか意見が出され今後も継続して意見交換することを確認した。

以上、審議の結果、出席理事総数18名のうち賛成17名、反対0名、棄権1名により原案を承認した

第3号議案(ここから糸理事参加)

JSCスポーツ団体大会開催助成事業作成地図のMTBO対応の承認(加納理事)

2024年度よりJOA主催フットO大会について、フットO Map作成時にISMOM図式対応を推進したい。

以上、審議の結果、出席理事総数19名のうち賛成18名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

第4号議案 NS検定規程および内規の改定の承認(信原業務執行理事)

・経費増加に伴う検定料、認定料の改定一律2,000円→ブロンズ2,500円、シルバー・ゴールドを3,000円に改定。

・18歳未満または高等学校生徒を対象に検定料、認定料の割引制度の導入(1,000円)

以上、審議の結果、出席理事総数19名のうち賛成18名、反対0名、棄権1名により原案を承認した

第5号議案 スキーO委員会委員長交代の承認(高島業務執行理事)

現スキーO委員長柴田達真に代わり、石原拓巳を新委員長として交代することについて承認をお願いしたい。

以上、審議の結果、出席理事総数19名のうち賛成18名、反対0名、棄権1名により原案を承認した

第6号議案 全日本大会エリートクラス出場資格規則改定の承認(高島業務執行理事)

全日本大会エリートクラス出場資格規則について、以下のように改正する。

(現行規則)3.スプリント競技 3.1 3.1.1 から 3.1.3 のいずれかに該当する者は M/WE の出場資格を取得する。

3.1.1 JOA強化選手(スプリント、U-20 または U-18)に指定されている者

(改正案)3.1.1 JOA強化選手(フォレスト、スプリント、U-20 または U-18)に指定されている者。

・改正理由と経緯:第32回理事会における改正で強化選手指定要領の認識に錯誤があったため、今回フォレスト強化選手についても出場権を与える条文に再修正する提案をした。

以上、審議の結果、出席理事19名のうち賛成18名、反対0名、棄権1名により原案を承認した

第7号議案 第32回全日本リレー大会運営謝金の理事への支払い承認(奥田業務執行理事)

JSCスポーツ振興基金助成金処理において、代表者等議決権を有する構成員が助成対象経費として諸謝金等の支給を受ける場合は、理事会等の機関決定承認および議事録が必要とされており承認を戴きたい。

(謝金支給予定理事:吉村理事/予定支給金額 40,000円/従事日数、競技責任者)

吉村理事はこの議案の当事者のため、この決議には参加せず一時退席した。

以上、審議の結果、出席理事総数18名のうち賛成17名、反対0名、棄権1名により原案を承認した

・村越理事はここで退席の為、8号議案以降の議決には参加しない

第8号議案 2023年度全日本ミドルロング運営謝金の理事への支払い承認(糸理事)

JSC スポーツ振興基金助成金処理において、代表者等議決権を有する構成員が助成対象経費として諸謝金等の支給を受ける場合は、理事会等の機関決定承認および議事録が必要とされており承認を戴きたい。

(謝金支給予定理事:奥田、糸)(謝金予定金額 奥田理事/12,000円 糸理事/20,000円)

・奥田理事、糸理事はこの議案の当事者のため、この議決には参加せず一時退席した。

以上、審議の結果、出席理事総数16名のうち賛成15名、反対0名、棄権1名により原案を承認した

第9号議案 委員会規程改訂の承認(奥田理事)

東京2025デフリンピック準備委員会および全日本リレー委員会の発足に伴い、委員会規程を以下のように改訂させて頂きたく、ご承認を賜りたい。

第2条第3項(特別委員会)

(5)東京2025デフリンピック準備委員会

(6)全日本リレー委員会

以上、審議の結果、出席理事総数18名のうち賛成17名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

第10号議案 日本ランキング規則改定の承認(糸業務執行理事)

日本ランキング規則4項における日本ランキング算出対象者に関して、WREを併催する競技会があることを前提に定義を明確にするため、下記の文言を追記する。

・「ただし、競技者登録を行っておらず、かつ、IOF-Eventorにおいて日本以外の国籍で登録している選手については、順位付けの対象外とする。」

以上、審議の結果、出席理事総数18名のうち賛成17名、反対0名、棄権1名により原案を承認した

報告事項 各理事、委員会、事務局の報告

1.理事及び代表理事の辞任報告(愛場副会長)

・堀井学代表理事。2023年9月13日発足の第3次岸田内閣で副大臣に就任され、国務大臣、副大臣、及び大臣政務官規範(平成13年16日閣議決定、平成26年5月27日改正)に基づき令和5年10月10日をもって、本人から代表理事・会長の辞任届の提出があった。

・谷野文史理事 体調不良により令和5年12月12日付で理事の辞任と共に委員(普及・指導、国際、総務、地域活性化)の辞任の申し出があった。

2.学連との登録費関係協議報告(村越副会長)

1)学連経由でのJOA登録費増の2024年度実行は断念する

2)2025年度からの実行を目指す

3)まずは学連幹部との認識すり合わせからはじめる

3.アジア連盟の設立について(村越副会長)

2022年4月のAsWGで決定したアジア連盟設立に向けての準備会議を、アジア諸国連盟(概ね8連盟)で検討中。12月の香港でのAsWGで正式に定款とIOFとの覚え書き案を承認する

4.アジア連盟設立に関するサブグループメンバーへの参画について(高島業務執行理事)

標題のサブグループメンバーとして、JOAから国際委員会の委員でもある落合公也氏を推薦した。

今回オブザーバーとして出席している落合公也氏から、補足説明と今後の展望について話があった。

5.競技委員会委員の退任(高島業務執行理事)

以下2名の委員について競技委員会より退任が報告された。

・平島俊次氏・大野聡生氏

6.「日本オリエンテーリング選手権(個人競技)実施基準」改訂の報告(高島業務執行理事)

日本オリエンテーリング選手権(個人競技)実施基準について、以下の3箇所の改訂が報告された。

(現行)5. 競技形態 (3)原則として、スプリント競技の選手権は、予選・決勝レース方式とする。

予選は必要に応じて各ヒート30名以下となるように均等に分割する。(以下省略)

(改訂)5. 競技形態 (3)スプリント競技の選手権は、予選・決勝レース方式または単一レース方式とする。

- 予選・決勝レース方式とする場合:

・予選は必要に応じて各ヒート30名以下となるように均等に分割する。(以下省略)

7.「日本オリエンテーリング選手権(リレー競技)実施基準」改訂の報告(高島業務執行理事)

日本オリエンテーリング選手権(リレー競技)実施基準について、以下の3箇所の改訂が報告された。

(現行)7参加資格 7.1 選手権クラス(6) 選手団の構成は、団長、監督、および選手とし、相互に兼ねることができる。

(改訂)(6)選手団の構成は、オフィシャル(1名は団長とする)2名以内および選手とし、相互に兼ねることができる

(現行)11 表彰等 11.2 団体総合表彰

(2)得点の計算方法 ④上記以外で、競技時間内に完走したチームには、1点を与える。

(改訂)④上記以外で、競技時間内に完走した得点対象チームには、1点を与える。

(追加改訂)13 改正 この実施基準の改正は、競技委員会で改訂する。

8.全日本大会エリートクラス出場資格規則改定の検討状況について(高島業務執行理事)

全日本大会エリートクラス出場資格規則

3.1.3『公認大会(スプリント)において最上位クラスで優勝時間の 130%以内の者』

第40回理事会にて、上記の条文に戻す改正を行ったが、引き続きより良い基準を継続検討することとなり、その検討状況を以下に報告された。

スプリント委員会:過去のスプリント競技について、公認大会、ランキング対象大会などを対象に、優勝時間に対する%や順位により、出場人数がどの程度変わるのかをシミュレーションした。

競技委員会:スプリント競技に限定せず、フォレストも含めたシミュレーションの作業を進めている。

同時にアスリート委員会からの意見などを踏まえた検討を行っている。

今後、前提条件をリストアップし、整理していく作業を進めていく予定である。

9.全日本委員会活動報告(糸業務執行理事)

・全日本大会のビジョンとして、「Life Long Sports, Life Long Orienteering」を挙げた。

生涯スポーツであるオリエンテーリングを全世代が全日本大会を通じて競い楽しむ大会であると同時に、選手権大会としての格式の高さを再構成し日本一を決めるにふさわしい大会の開催・今後継続可能な大会開催形態の構築を目指す。

・2024-2026年期中期計画として、次年度より助成金無しでの黒字事業への発展と継続を目指していく事が報告された。

・また各会員への依頼として、大会開催が可能なトレインの情報提供が呼びかけられた。

意見交換・討議

1.「認定指導者規程」に関する討議(信原業務執行理事)

認定指導者規程を認定資格規程に変更およびその関連の修正

2.会員支援に関する支払い規定改訂の討議(信原業務執行理事)

現在の会員支援には課題があり、会員より是正を求められている。

3.「会員とJOAの対話集会」について(信原業務執行理事)

JOAと各会員の1対1の対話集会開催を進めたい。

4.会長後任人事について(愛場副会長)

・ノミネーションWGで会長候補を探す方向で動き出す。

5.その他(信原業務執行理事)

規定の確認を進めている中で、組織、文書、登録資格、などについて、整理、改革をしてゆきたい。

本日のオンラインシステムを併用した会議は、終始異状無く議題の審議を終了したのを確認した。

第41回理事会議事録 以上

2023年12月16日

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

議事録署名人

議長

代表理事「副会長」 愛場 庸雅

愛場 庸雅

印

議事録署名人

監事 齋藤 宏頭

齋藤 宏頭

印